

平成29年度 SGH 実施状況

【スーパーグローバルハイスクール事業について】

スーパーグローバルハイスクール (SGH) とはグローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、国際的に活躍できる人材の育成を図ることを目的とした、文部科学省による事業である。

本校では、将来国際的に活躍できる人材の育成を目指して、平成28年度から「香川版 SGH」に取り組んでいる。「持続可能な社会の創造」をテーマとしてグループでの課題探究活動、連携する行政・大学・企業からの講演、国内外のフィールドワーク、海外との学校との交流活動、英語でのレポート作成や外国人教授によるディスカッションの授業等、様々な活動を通して、これから必要とされる「社会課題に対する関心と深い教養」、「コミュニケーション能力」、「問題解決能力」などの国際的素養を身に付けた学生の育成を目指している。また、これらの活動を通して、学問への探究心がさらに高まり、進路意識の向上や進路実現につなげることも目指している。

(I) 1年生対象 SG 講演会・・・講師 18名

「地方創生」をテーマとして課題研究に取り組んでいる1年生280名を対象に、講演会を実施した。課題研究に初めて取り組むこととなる1年生にとって、テーマを設定していく上での基本となる知識を得るための全体講演を4月14日、4月24日、5月2日に行なった。また、「モノづくり」、「観光・商業」、「生物資源」、「教育」、「地域医療」、「都市と人間」の6分野に分かれてのコース別講演会を4月26日と5月12日の2回実施した。各講師からはそれぞれの専門分野の観点から講義をいただいた。

実施状況は以下の通り。

4月14日	丸亀市 市長公室 政策課	副課長	富士川 貴 氏
4月24日	関西学院大学 国際学部	教授	關屋 武司 氏
4月26日	香川大学 教育学部	准教授	片岡 元子 氏
	香川大学 医学部	教授	白杵 尚志 氏
	香川大学 経済学部	教授	古川 尚幸 氏
	大阪大学 工学部	教授	桑畑 進 氏
	丸亀市 農林水産課	担当長	川池 伸康 氏
	丸亀市 都市計画課	担当長	真鍋 裕章 氏
5月2日	立教大学	副学長	山口 和範 氏
5月12日	香川大学 農学部	教授	深井 誠一 氏
	香川大学 経済学部	准教授	西成 典久 氏
	丸亀市 産業振興課	課長	平尾 聖 氏
	丸亀市 学校教育課	副課	和田 宏幸 氏
	丸亀市 子育て支援課	副主任	善生 直樹 氏
	丸亀市 文化観光課	副主任	大川 智 氏
	丸亀市 福祉課	副主任	堀 直美 氏
	丸亀市 健康課	主任	岡上 紗与 氏
	丸亀市 高齢者支援課	担当長	奥村 登士美 氏



(II) 2年生対象 SG 講演会・・・講師 7名

「持続可能な社会の創造」をテーマとして課題研究に取り組んでいる2年生 SG コース 46名を対象に、国際的な視点から課題研究に取り組めるよう全体講演を4月11日、4月19日、4月25日に行なった。また、研究テーマとして「活力と魅力ある社会の創造」と「安心・安全な社会の創造」の2つのコースを設定しており、5月24日、6月6日にコース別のワークショップを行った。

4月11日	関西学院大学 国際学部	教授	久木田 純 氏
4月19日	大阪大学 CO デザインセンター	教授	松繁 寿和 氏
4月25日	吉原食糧株式会社	代表取締役社長	吉原 良一 氏
5月24日	香川大学 農学部	教授	豊田 正範 氏
5月24日	香川大学 医学部付属病院	教授	臼杵 尚志 氏
6月6日	大阪大学大学院 国際公共政策研究科	准教授	中内 政貴 氏
6月6日	関西学院大学 国際教育・協力センター	教授	中村 明 氏

(III) SG 国際交流会（1年生対象）

5月25日に台湾の潮州高級中学から27名（生徒22名、引率4名、通訳1名）が本校を訪問し、本校1年生を中心に交流活動を行った。

交 流 内 容：1限目 来校、オリエンテーション
2限目 交流会（学校紹介、ダンス披露、レク）
3限目 前半（家庭科 和三盆づくり体験）
3限目 後半（書道体験／体育）
昼休み 2グループに分かれて昼食交流
13:10～閉会式



(IV) 海外フィールドワークの実施（2年 SG コース希望者9名）

うどん用小麦の世界最大の産地であるオーストラリアのパースにてフィールドワークを実施。ドローンやGPSを活用した現地の先進的な農業の様子や品質管理の様子を学んだ。また、在パース総領事館での業務内容や国際情勢等のレクチャー、パース市役所での都市開発計画についてのレクチャー、農業大学での講義、アボリジニーの生徒が多く通う地元高校を訪問し文化学習や交流活動を実施した。

日 時：平成29年7月31日～8月6日

研修地：オーストラリア パース

参加者：SG コース2年生9名

研修先：在パース日本領事館、パース市役所、
西オーストラリア州農協穀物会社(CBH)、
小麦生産農家、Avon 内陸集荷施設、
穀物品質分析施設 (Australian Grains Center)、
小麦積出施設 (Metro Grain Center)、
Governor Stirling Senior School



(V) 大学研究室訪問の実施

夏休みを利用し、希望者を対象に、連携大学の研究室への訪問を1泊2日で実施した。研究室見学・体験などを通して、学問への興味関心を高めるとともに課題研究のヒントを得たり、進め方を学んだりすることができた。

(VI) 県内フィールドワークの実施（1年生対象名）

9月20日 1年生280名が県内フィールドワークを実施した。「モノづくり」、「観光・商業」、「生物資源」、「教育」、「地域医療」、「都市と人間」の6分野57班が、課題研究を進めていく上で必要となる調査を県内各所において行った。

(VII) ディベートワークショップの実施（1年生対象）

11月2日に講師として森高克彦氏を招き、ディベートの意義や進め方についての講演と模擬ディベートを実施した。12月には、その講演で学んだ知識を元にホールルームの時間を利用しクラス毎にディベートを実施した。

(VIII) 英語での講義の実施（1年生希望者28名、2年生希望者9名）

1、2年生の希望者を対象に斯文土曜塾の登録制講座として年6回開講。ネイティブ講師によるスピーチや、ディスカッションのレクチャーを実施。授業（1コマ90分）はすべて英語のみで進められる。

・9月17日、10月21日、11月11日、12月9日、2月10日

香川大学教育学部 教授 ポール・バテン 氏

・1月27日 香川県国際課 国際交流員 アン・ヴィシエビヴィアンスキ 氏

・3月3日 香川県国際課 国際交流員 ジョナサン・マッカーリー 氏

※9月17日は荒天のため中止

※2月10日は1年生のみ（2年は模試）

※3月3日は2年生のみ



(IX) SGH 報告会の開催

① 11月15日 1年生中間報告会（1年生280名）

6つの分野に分かれてポスターセッションを行った。連携大学である香川大学や市役所から指導助言者を招き、今後の研究を進めていく上での具体的な助言をいただいた。

分野	班数	指導助言者
モノづくり	8班	松本 由樹 氏（香川大農学部）
生物資源	8班	豊田 正範 氏（香川大農学部）、川池 伸康 氏（丸亀市農林水産課）
観光・商業	6班	松岡 慎司 氏（丸亀市文化観光課）
	7班	古川 尚幸 氏（香川大経済学部）
地域医療	8班	横田 敏江 氏（丸亀市健康課）、岡上 紗与 氏（丸亀市健康課） 堀 直美 氏（丸亀市福祉課）
教育	8班	片岡 元子 氏（香川大教育学部）、西川 小百合 氏（丸亀市子育て支援課）
都市と人間	6班	真鍋 裕章 氏（丸亀市都市計画課）
	6班	富士川 貴 氏（丸亀市政策課）

② 12月12日 2年生SGコース内発表会（2年生SGコース46名）

多目的ホールにて、研究テーマごとにパワーポイントによる成果発表を行い、コース代表2班を決定した。コース代表となった2班は、3月15日のSGH発表会にてプレゼンを行う。また、1位となった班についてはSGH甲子園（全国SGH課題研究発表会）に学校代表として応募した。3月24日に関西学院大学で行われる発表会にて研究成果ポスタープレゼンテーションを行う予定。

1位「環境問題～未来を作る小学生に伝えよう」

2位「NICEなRICE 米の需要を上げるには」



③ 2月14日 4、5校時 1年生分野別発表会（1年生280名）

分野別に分かれ、班ごとにパワーポイントによる成果発表を行い、各分野代表を決定する。班数の多い「観光・商業」と「都市と人間」の2つの分野はそれぞれ2班代表を選出する予定。

④ 3月15日 4、5校時 SGH発表会（1、2年生全体）

1年生各分野代表及び、2年生SGコース代表による全校生徒対象の成果発表会を実施予定。

(X) 台湾研修の実施（1年生希望者20名）：「外国との交流推進事業」の助成対象事業

現地の学生との交流活動や企業訪問・公的機関訪問等を通じて国際感覚を養うこととともに様々な経験を通して国際的な視野を広げることを目的に、1年生のSGH活動の一環として実施する。

日時：平成30年3月26日～3月30日

研修地：台湾桃園市、台北市

参加者：1年生20名

研修先：開南大学、大園國際高級中学、東洋炭素、日本台湾交流協会、桃園市役所

丸亀高校スーパーグローバルハイスクール（アソシエイト校）【香川版SGH】事業について

【1年次の事業について】

- (1) 1年生全員（280名）を対象として、「地方創生」をテーマとする「課題研究」を実施する。
 (2) 年間計画案

	月	日	曜		TP（テーマプロジェクト：総合的な学習の時間） *社会と情報
1 学期	4	12	水	基礎 学習	オリエンテーション
		14	金		SG講座①「人口減少に挑む・備える～丸亀市の現状と課題・対策～」 (丸亀市役所)
		24	月		SG講座②「国際協力と地方創生におけるグローバルな視点」 (関西学院大学国際学部)
		26	水		SG講座③ [分野別] (大阪大学、香川大学、丸亀市役所)
	5	2	火	課題 発見	*SG情報講座①「統計学に基づいた課題発見・問題解決」(立教大学)
		12	金		SG講座④ [分野別] (香川大学、丸亀市役所)
		24	水		グループ編成（各グループ約6名）、グループワーク
		25	木		SG国際交流会（台湾の高校生との交流）
	6	7	水	グループワーク（ブレインストーミング等：疑問の洗い出し・整理）	
	7	12	水	グループワーク（研究テーマ、フィールドワークの行き先等検討）	
	夏休み			課題 解決	大学研究室訪問（希望者）、自主的フィールドワーク
	2 学期	9	13	水	問題 解決
20			水	フィールドワーク（聞き取り・アンケート調査等）	
10		4	水	グループワーク（研究テーマ決定、「企画書」作成）	
		18	水	グループワーク（「企画書」作成）	
11		1	水	グループワーク（「企画書」作成、リハーサル）	
		15	水	中間報告会	
12	13	水	グループワーク（「企画書」仕上げ）		
冬休み			自主的フィールドワーク		
3 学期	1	17	水	発表	グループワーク（「企画書」仕上げ）
		31	水		グループワーク（「企画書」仕上げ、リハーサル）
	2	14	水		分野別発表会（「企画書」のプレゼン：全てのグループ）
	3	15	木		SGH発表会（「企画書」のプレゼン：各分野の代表グループ）
春休み				海外研修（台湾：希望者）	

社会と情報

・情報収集
・整理
・分析
・協議
・等

・SG講座③④は、分野別に分かれて講座を実施する。

【2年次の事業について】

(1) 2年生(280名)の内、SGコースを希望する生徒(46名)を対象として、「持続可能な社会の創造」をテーマとする「課題研究」を実施する。

(2) 年間計画案

				TP (総合的な学習の時間)	※印：2学年全員(学校行事)
1 学期	4	11	火	基礎 講座	SG講座①「21世紀を生きる人生デザインと地球規模課題解決法」 オリエンテーション (関西学院大学)
		19	水		※グローバル講座Ⅰ「課題研究の進め方・グローバル課題について」 (大阪大学)
		25	火		SG講座②「うどんから世界を学ぶ～小麦・水・塩～」(吉原食糧)
	5	24	水		SG講座③(香川大学の連携学部による講座)
	6	6	火		SG講座④(大阪大学、関西学院大学の連携学部による講座)
		20	火	課題 発見	グループワーク(グループ編成・課題発見)
	7	18	火		グループワーク(課題発見)
海外フィールドワーク(希望者)、自主的フィールドワーク					
夏休み					
2 学期	9	5	火	問題 解決	グループワーク(課題発見：研究テーマ決定)
		19	火		グループワーク(問題解決)
	10	3	火	グループワーク(問題解決、プレゼンシート作成)	
		17	火	グループワーク(問題解決、プレゼンシート作成)	
				※グローバル講座Ⅱ(高校生講座：外務省)	
		31	火	グループワーク(問題解決、プレゼンシート作成)	
	11	14	火	グループワーク(問題解決、プレゼンシート作成、リハーサル)	
12	12	火	※SGコース内発表会		
冬休み					
3 学期	1	16	火	英語 力 向 上	英語での報告書作成
		19	金		英語技能検定受検
		30	火		英語での報告書作成
	2	13	火		英語での報告書作成
		3	15		木

・5月24日、6月6日は、2つに分かれて講座を実施する。

【3年次の事業について】・・・今年度は無し

現在SGコースを選択している2年生(46名)が、引き続きグループごとに英語での報告書作成に取り組み、英語でのプレゼンテーションや質疑応答を行うために英語運用能力の向上に努め、英語での発信能力を高める。